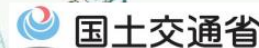


2023KAWASAKI新モビリティサービス実証実験(神奈川県川崎市)

まちづくり×交通



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

KAWASAKI 新モビリティサービス実証実験協議会

【実施主体】川崎鶴見臨港バス株式会社

【共創パートナー】川崎市まちづくり局交通政策室、川崎区役所まちづくり推進部企画課(自治体)、神奈川県タクシー協会川崎支部(交通)、NPO法人レインボー(福祉)、(株)ビックライズ(商業)、大師ONE博(外出)、NPO法人キッズアートプロジェクト、臨港病院(医療) 他

地域課題

- 川崎区内の路線バスは、川崎駅を中心に放射状に伸びる路線網で構成され、その路線網を南北に縦断する交通が少ない。
- バス運転士不足の深刻化により、地域住民への公共交通におけるニーズ対応が難しくなっている。

実証事業の内容

(1)AIオンデマンドバスの実証実験運行

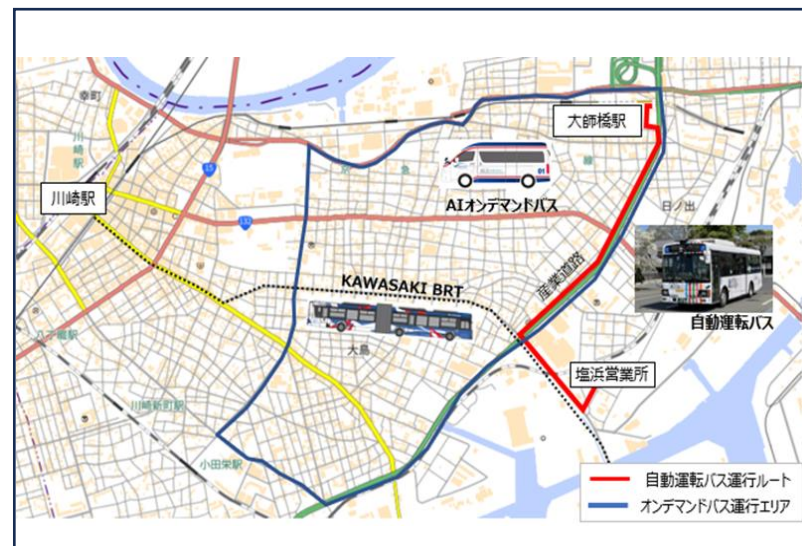
(2)自動運転バスの実証実験運行

2つの実証実験を同時に行う事で市民のニーズ把握、提供する交通サービスの多角化、地域交流促進を目指す。

今後の展開

- 新モビリティサービス実証実験の結果を分析し、来年度以降、より深度化した実証運行実施を目指す。最終的には、地域の地域交通事業者として、様々な課題を乗り越え、持続可能な地域交通モデルの確立を目指す。
- 実証実験の結果を協議会や行政と共有し、BRTや路線バスなど様々な交通モードの連携をさらに高度化し、継続的な新モビリティサービスの取り組みに繋げる。

事業実施区域



事業体制

